

令和6年 第13回福祉医療常任委員会所管事務調査報告書

令和6年12月12日

別海町議会議長 西 原 浩 様

福祉医療常任委員長 外 山 浩 司

福祉医療常任委員会の所管事務調査を実施したので、別海町議会会議規則第77条の規定により、次のとおり報告いたします。

記

《第13回》

1 日時

令和6年12月12日（木） 午前10時00分から午後3時00分まで

2 開催場所

委員会室3

3 出席委員

外山浩司委員長、宮越正人副委員長、中村忠士委員、小椋哲也委員、高橋真結美委員

4 欠席委員

なし

5 委員外

なし

6 協議事項

- （1）高齢者支援について
- （2）町立別海病院の運営について
- （3）自殺予防対策について

7 説明員の職と氏名

福祉部長 干場みゆき、福祉課長 石戸谷友絵、介護支援課長 高橋勇樹、
老人保健施設事務長 渡辺久利、病院事務長 三戸俊人、事務課長 榎木直人、
保健生活部長 小川信明、保健生活部次長 千葉宏、保健生活部次長 谷村将志、
生活環境課長 上田健一 ほか

8 協議結果

（1）所管事務調査項目

①高齢者支援について（福祉部）

○地域とのつながり（孤立状況）、社会参加、介護施設への入所・入居状況について

- ・アンケートから、孤独を感じている高齢者が10名いたが、人口比から推測すると60名程と予想される。
- ・孤立を感じている人の中には、孤独を好んでいる人もいるが、環境（移動の問題、地域環境の問題等）によって孤立状態になっている人が多くいるのではないかと。
- ・孤立している高齢者を把握するのは行政だけでは難しい。民生委員の活動が大きな力となるのでは。
- ・孤立者の把握・支援に配食サービスが良いと思う。拡大に向け予算を多くしてほしい。

- ・子供食堂に、子供だけでなく高齢者も多く訪れている状況である。
- ・福祉牛乳での知人への配達サービスは、交流の機会にもなっていて孤立防止対策としても良い制度である。

配達者へは、ポイントが付与されることになっているが、更に大きな支援が必要ではないか。

市街地以外の地域でも使えるように範囲を広げられないか。

- ・配達は、ボランティア精神だけでは継続しづらい。総合政策課で検討中のデジタル通貨での謝金に繋がらないか。

②町立別海病院の運営について（別海病院）

- ・委員会終了後に上西春別診療所に新しい医師の赴任決定と尾岱沼診療所の医師の退職の報告を受ける。
- ・医師確保に向けて、あらゆる方策が大切である。特に町長の今以上の積極的な活動を期待したい。
- ・別海町とゆかりのある病院(枚方市の病院等)への強い働きかけにより、長期の派遣(1年間など)ができないのか。
標津町は、久留米医大と協定し長期派遣を受けている。
- ・地域おこし協力隊の活用ができないか。医療関係に通じている隊員が、事務の手伝いなどをすることで、事務方が病院運営や医師確保などに向かう時間が今より確保できるのではないか。
- ・今回の定例会で補正額2億6千万円の繰入がされたが、経営の補填だけでは運営の改革などはできないのではないか。
- ・今後の病院運営のビジョンを明確にすべきである。町からの繰入が10億円になる見込みの中で、どのような経営をしていくのか、産婦人科をどうするのかなど。

→3月に委員会代表質問を予定する。

③自殺予防対策について（保健生活部）

- ・大人のひきこもり問題もある。人数の把握は難しいが、我々議員の周りにもいる状況である。
- ・8050問題として、現在親の年金で生活している子供が、親が死亡した場合などの後はどうなるのか。生活保護を受けながら自立できるのか。入れる施設等があるのか。
- ・別海町に臨床心理士(佐伯主査)を配置し、町民の悩みごと、不安解消などに対応していることは大変いい。(根室管内や同じ人口規模では、全道で別海町だけの配置であるとのこと)
- ・自殺予防対策として「ネットワーク基盤体制づくり」でゲートキーパーの養成がされ、現在2,000名に達している。予防の成果も出ているようでいい研修会だと思われる。
- ・30代、40代の自殺者が出ているが、酪農家で規模拡大で億単位の設備投資をした結果、上手くいかず経営破綻してしまうケースがあり、大きな負債を抱えると心身の負担となり自殺に繋がることもある。
- ・祖父から孫への言葉がけの中で「頑張れ、頑張れ」は孫の負担になる場合がある。祖父の時代は頑張ることが当たり前だったが、孫の時代には大きく変わってきている。「頑張れ」を強要されると大きな負担になるのではないか。
- ・現在、札幌医科大学との連携や協働体制を維持して取り組んでいる。今後も共同研究ができるよう大学と正式な協定を結び自殺対策に取り組むべきである。

以上